

慶應義塾大学医学部人材育成特別事業

○活動実績

奨学金事業を開始した2015年より現在に至るまで、一般入試における成績優秀者10名程度に、合格時保証奨学金として1人あたり年間200万円（4年間で総額800万円）を給付しています。

毎年度、第1～4学年の全奨学生が集まり、交流する懇親会を実施しています。

第1学年には医学部長より授与証が交付されます。新たに奨学生となった学生一人ひとりが慶應義塾大学医学部生として、そして本奨学金奨学生としての決意表明を行い、さらに医学部長や医学教育統轄センター長からの激励を受け、わが国の医療の将来を担う医学生としての自覚を改めて強くする機会となっています。上級生による自らの医学・医療・社会における奨学生としての活動についてのプレゼンテーションや、学年を超えた意見交換を通して、奨学生一人ひとりが互いに刺激を与え合い、これからの学生生活の有意義な過ごし方を考えるきっかけとなっています。



医学部長からの授与証授与の様子



上級生によるプレゼンテーション

また、2020年より、国際的な大学での研究、医学・社会活動など、特筆すべき国際活動をおこなう学生を支援する国際活動支援奨学金を開始しました。2025年度は沖縄科学技術大学院大学（OIST）や Johns Hopkins University・Columbia Universityなど海外研究施設での研究活動（自主学習）、Washington University in St. Louisでの臨床実習、国際学会発表などの国際活動を行った学生に奨学金を給付しました。学生たちのダイバーシティを尊重することに重点を置き、将来、日本国内だけでなく海外でも国際的リーダーとして広い分野で活躍できる人材を育成することを目指しています。

今後も、本事業内容をさらに拡充・発展させ、わが国の医学を牽引する人材の育成を目指し取り組んでいきます。

○参考

<https://www.keio.ac.jp/ja/med/admission/scholarship/fee-undergraduate/human-resource-development/>